



MAX DLC

取扱説明書

10m糸色マーキングPEライン専用

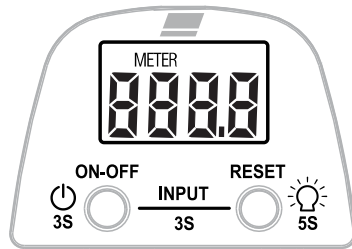
このたびは、アブ・ガルシア MAX DLCシリーズをお買い上げありがとうございます。アブ・ガルシアは50年以上もの間、高品質、高機能、高耐久性のリールの代名詞として知られ、今日でもトーナメントサーキットを転戦するバスプロ、記録を目指すエキスパート、フィッシングガイドなど世界中のトップアングラーに選ばれています。本機種のパフォーマンスを十分に引き出し、あなたの釣りを楽しいものにするために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読み下さい。また、この取扱説明書は大切に保管して下さいませよう、お願い申し上げます。

■ 各部の名称	2	■ 釣りをする時の操作方法	2 2
■ 基本操作方法	3 ~ 4	■ 船べりアラーム機能	2 3
■ 製品仕様	5	■ LEDバックライト設定	2 4
■ ラインキャパシティ	6	■ 釣りを終わったら 電源OFF	2 5
■ ご使用前の電池取り扱い	7	■ 電池交換方法	2 6
■ 糸の準備	8	■ お取り扱い上の注意	2 7 ~ 2 9
■ 糸の巻き方とデータ入力方法	9	■ 故障かな?と思う前に	3 0 ~ 3 1
■ 糸のデータ入力方法	1 0 ~ 2 1		

各部の名称

*写真は右ハンドルモデルです。

デジタルカウンターの表示



水面から仕掛けまでの水深を10cm単位で表示します。少数第一位の表示は10cmを示します。

- 例 100.5→100m50cm
- 糸の入力・・・9～21ページ
 - 各操作方法・・・3～4ページ

標準付属品

糸通しピン 専用レンチ (Pモデルのみ)
リール袋 USER'S CARD(保証書)
展開図 取扱説明書(本書)



基本操作方法

* 写真は右ハンドルモデルです。

メカニカルブレーキ操作方法



強

ノブを強く締めるとスプールの左右のガタが無くなりスプールにブレーキ力が発生します。

ノブを弱く緩めるとスプールのフリーが向上します。通常はスプールの左右のガタが無くなる程度に調整します。バックラッシュが発生した場合は段階的に締めて調整します。

弱

棚とりスイッチ

棚とりスイッチを押し、クラッチを離すと自動的に復帰するので棚取りが楽です。糸を出している間は、バックラッシュ防止の為、サミングをお勧めします。



棚とりスイッチを
押す



クラッチを押すと
糸が出る



クラッチから指を
離すとクラッチが
自動で戻り糸の出
が止まる

ドラグ調整方法



強

弱

ドラグとは、魚が強く引いたときにラインを切られないように魚の引く力に合わせてラインをスムーズに送り出すシステムです。正確にドラグを調整するには「バネばかり」を使用すると良いでしょう。

スタードラグを回転させてドラグ力の調整を行います。まずリールをロッドに取り付け、ラインをロッドのガイドに通してからラインをバネばかりに結びます。ラインの強度の限界点に達する前にドラグが滑り出すようにします。ドラグはライン強度の1/3をはかりの目盛りがさした時に滑り出すようにセットします。ライン強度の1/3に設定する方法は一般的な目安ですので、対象魚や釣り場の状況に合わせて調整してください。ドラグが弱すぎると確実なフックセット(アワセ)が出来ませんし、強すぎると魚の強烈な引きにラインブレイクしてしまいます。(ライン強度テスト値の1/2以上の強さに調整すると、ラインブレイクする恐れがあります。)※左ハンドルは強弱の回転方向が逆です。

基本操作方法

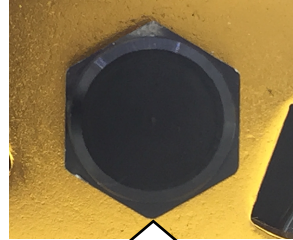
*写真は右ハンドルモデルです。

ハンドル長さ変更方法 Pタイプのみ

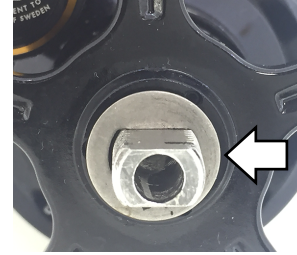
付属の工具または10mmのスパナ、マイナスドライバーをご使用下さい。



1.ハンドルの図のスクリューをマイナスドライバーで反時計回りに回し外します。六角ナットを固定しているプレートも外します。



2.ハンドルの図の六角ナットを付属の工具で回し外します。右巻きのリールは、反時計回り。左巻きのリールは、時計回りに回します。

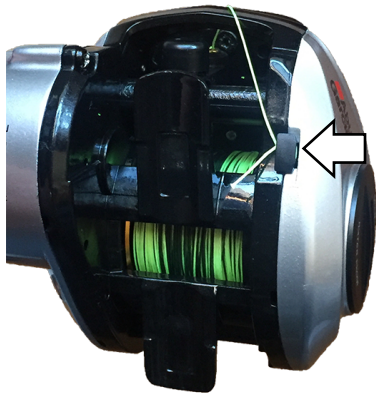


3.図のワッシャーがシャフトに残っていることを確認してください。



4.ハンドルを外し、長さを変更する場合は①の穴にシャフトを装着し2、1の逆の手順で装着します。

糸止め機構



本体裏側に糸止め機構があります。糸を矢印の機構部爪に引っ掛けると糸の巻き込みを防止できます。

製品仕様

■ 本体仕様

製品名	標準自重 (g)	最大ドラグ (Kg)	ギア比	最大ライン巻取 (cm/ハンドル回転)	ベアリング入数 (ボールベアリング/ ローラーベアリング)	ハンドル長
MAX DLC / MAX DLC-L	220	5	5.8	60	5/1	105mm
MAX DLC H / MAX DLC H-L	220	5	7.0	73	5/1	105mm
MAX DLC P / MAX DLC P-L	218	5	5.8	60	5/1	60/70mm

*最大ライン巻取について: 最大ライン巻取はスプール径からの計算値によってハンドル一回転あたりのライン最大巻取長を表示しています。

■ ラインカウンター仕様

- バックライト付き大型液晶パネル
- 糸長入力範囲: 50mから599m
- 水深表示誤差: $\pm 3\%$ (カウンターの数値と開始一投目に実際糸の出た長さの差)
- 液晶表示温度: $-10^{\circ}\text{C} \sim 60^{\circ}\text{C}$ (液晶の性能上、温度範囲外において表示が見にくくなる場合があります)
- 液晶節電機能: 次の条件で液晶表示やバックライトが、節電のため自動的にスリープします。再びスプールの回転(糸の巻取りまたは繰出し)によりスリープを解除します。
 - ① 電源ONの後、15分間スプールの回転がない時に、液晶表示消灯します。
 - ② バックライトONの後、30秒間スプールの回転がない時に、バックライト消灯します。
- その他節電機能: 電源ONの後、10時間スプールの回転がない時に、自動的に電源をOFFします。
- バッテリー型番: CR2032 (交換可能)

ラインキャパシティ

■ ラインキャパシティ *スプールエッジ(9ページ参照) までの巻き糸量です。

本機種は糸巻量の1/3, 1/2の下巻用の目安ラインをスプールの側面にマーキングしました。
 下巻きすることにより下記表のバリエーションで糸を巻くことができます。
 入力方法については 8 ページ~20ページをご覧ください。
 糸を巻く際は500gの負荷(テンション)をかけてください。

- スプール中心より
- 1 番目 : 1/3の下巻用目安ライン
 - 2 番目 : 1/2の下巻用目安ライン



1/3の下巻用目安ライン

1/2の下巻用目安ライン

(単位 : m)

	PE0.6	PE0.8	PE1.0	PE1.2	PE1.5	PE2.0	PE3.0
下巻き無し	500	400	300	250	200	150	100
下巻き 1/3	330	270	200	170	130	100	70
下巻き 1/2	250	200	150	130	100	80	50

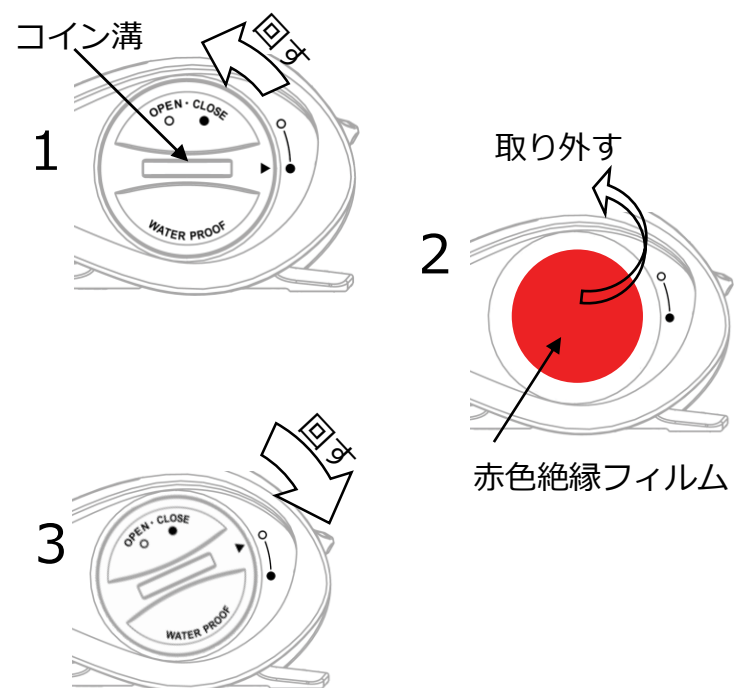
- ラインキャパシティについて : PEラインの表記は四本抛りを基準としています。ラインを巻取るテンションによっても変化します。また製造する各メーカーにより表示通りに巻けない場合があります。
- PEライン1号以下の細糸使用時において、糸巻きの偏りやバックラッシュの発生によりスプールとフレームのすき間に糸が入り込む場合がありますのでご注意ください。
- 下巻きには必ずPEラインをご使用ください。(使い古しやPEラインの号数・長さがわからなくても問題ありません)

ご使用前の電池取り扱い

* 写真は右ハンドルモデルです。

本機種をご使用前の前に、電池の絶縁フィルムを取り除いてください。電池残量保護のため、絶縁フィルムが出荷状態で取り付けてあります。付属の電池はテスト用です。作動期間は保証できかねますので、お早めに新しい電池と交換して下さい。電池は釣具店様や電器店様で購入できます。
電池型番：CR2032

1. コイン等を図のフタの溝に合わせ反時計回りに回し、フタと電池を外します。
2. 本体の電池部底面にあるフィルム（赤色絶縁フィルム）を取り外します。
3. 本体に対し、フタの▲マークが○の位置になるように電池と蓋を本体にセットし、コイン等を使用しフタを押しながら時計回りに回します。▲マークと●マークが合う位置まで回します。

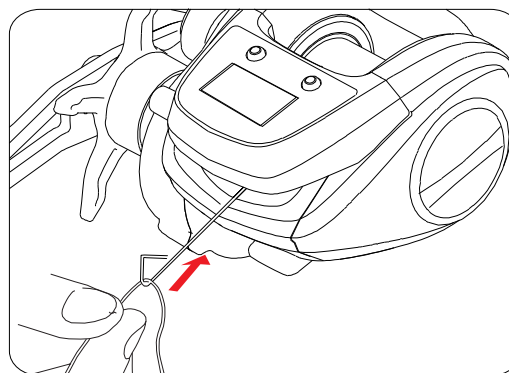


糸の準備

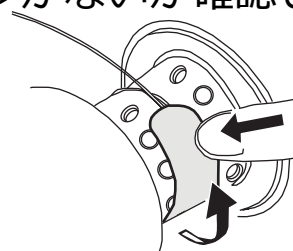
* 写真は右ハンドルモデルです。

最初に糸を巻くときや、糸を巻きかえるときの手順です。電源OFFの状態で行ってください。

1. レベルワインドに糸を通す
付属の糸通しピンをスプール側からレベルワインドに通し、糸を先端に引っ掛けてスプール側に引き出してください。



2. スプールに糸を固定する
スプール軸に糸を結び、糸滑り防止のため結び目やスプール軸上のラインをテープ等をしっかり貼り付けます。テープのズレがないか確認します。



3. 糸のデータを入力します。詳しくは次ページを参照して下さい。

糸の巻き方とデータ入力方法

*入力前に必ずお読みください

本機種には、あらかじめPE1.5号200m（4本撚り糸）のデータが入力されています。PE1.5号200mを巻く場合、糸の入力操作は不要です。PE1.5号以外の糸の入力方法は4つあります。それぞれの条件を確認して参照ページへ移ってください。

F1 基本入力：10～11ページ参照ください

リールに巻く糸の長さが分かり、*スプールエッジまで巻く場合の入力方法。

F2 下巻き1/3入力：12～14ページ参照ください

下巻きをスプールの1/3容量まで巻きつけ、かつこれからリールに巻く糸の長さが分かり、*スプールエッジまで巻く場合の入力方法。 ※下巻きには、必ずPEラインをご使用ください。

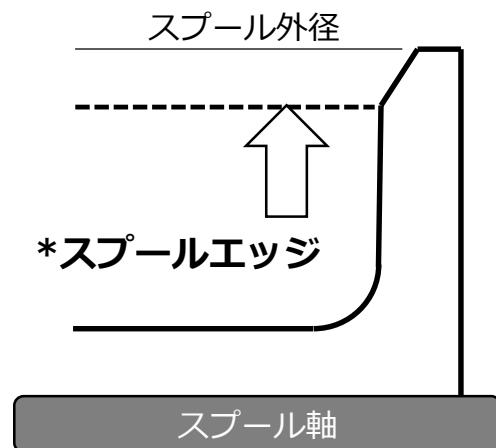
F3 下巻き1/2入力：15～17ページ参照ください

下巻きをスプールの1/2容量まで巻きつけ、かつこれからリールに巻く糸の長さが分かり、*スプールエッジまで巻く場合の入力方法。 ※下巻きには、必ずPEラインをご使用ください。

F4 40m引き出し入力：18～21ページ参照ください

糸の太さやこれから巻く糸の長さが分からない場合や、スプールエッジまで巻けない場合の入力方法。但し糸が40m引き出せる条件で、かつ20mを2回正確に引き出せる必要があります。

*スプールエッジとは



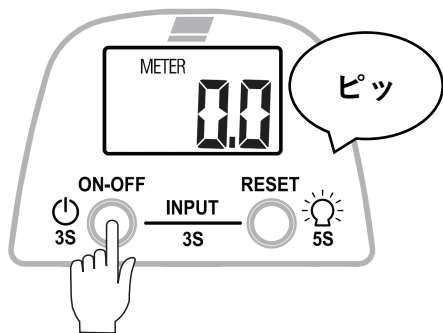
製品性能を十分に発揮させるためにも、図のスプールエッジまで正確に糸を巻付けることをお奨めします。糸巻きの多すぎは、ラインのトラブルや糸入力時エラーが発生する可能性があります。

糸を巻付けた結果、スプールエッジまで満たなかった場合は、F4での再入力をしてください。

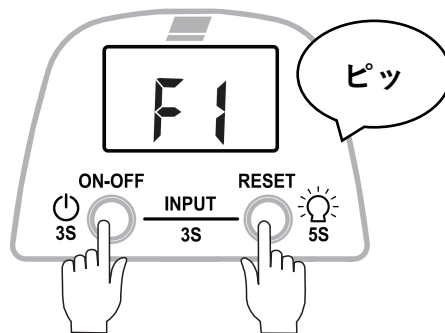
F1 基本入力

リールに巻く糸の長さが分かり、
巻く場合の入力方法。

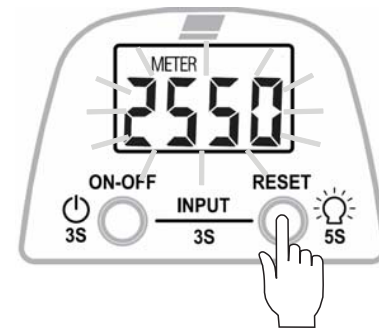
*スプールエッジまで



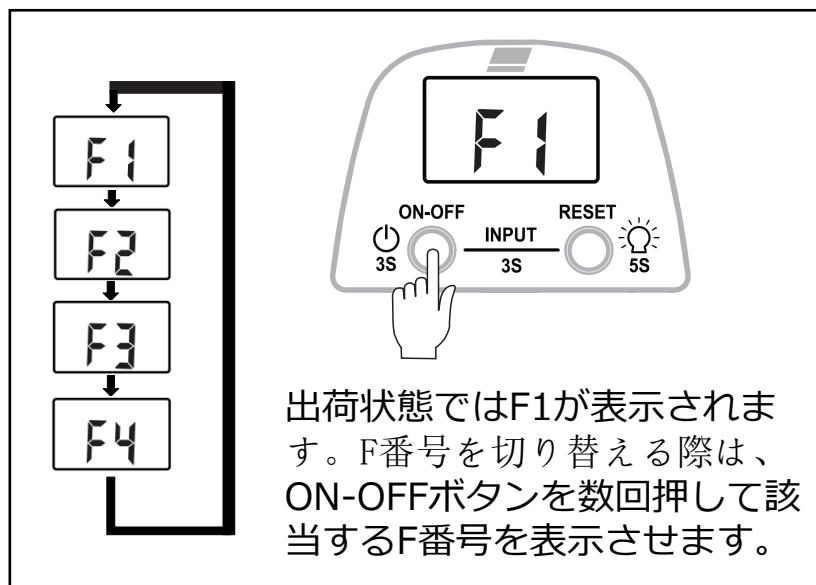
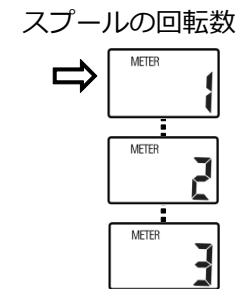
- ① スプールに糸を固定した状態からON-OFFボタンを3秒押ししてカウンターの表示をONにしてください。



- ② ON-OFFボタンとRESETボタンを同時に3秒押してください。下図の手順でF1を選択してください。



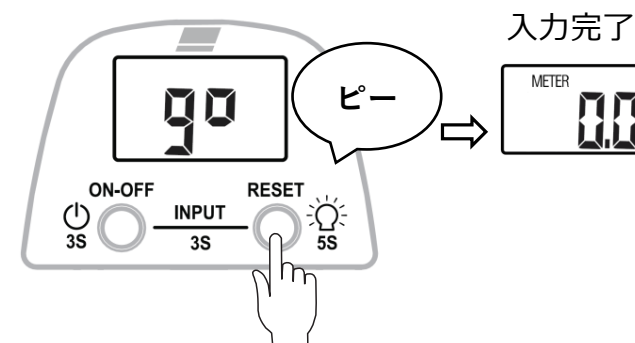
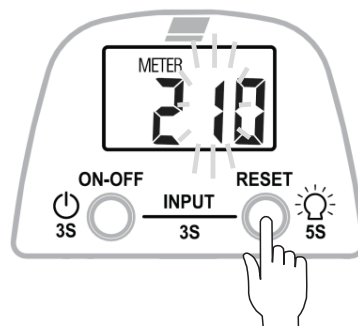
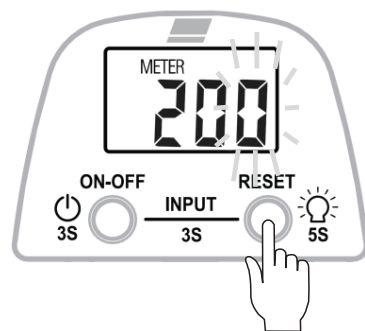
- ③ RESETボタンを1回押ししてください。前回セットした際のスプールの回転数が点滅して表示されます。(出荷時2550)



- ④ ハンドルで糸を巻いてください。糸に500g程度の負荷をかけてスプールエッジまで巻いてください。巻き始めるとスプールの回転数が表示されます。PEラインの糸色を数え、巻いた長さを忘れないようにしてください。

F1 基本入力

リールに巻く糸の長さが分かり、*スプールエッジまで巻く場合の入力方法。



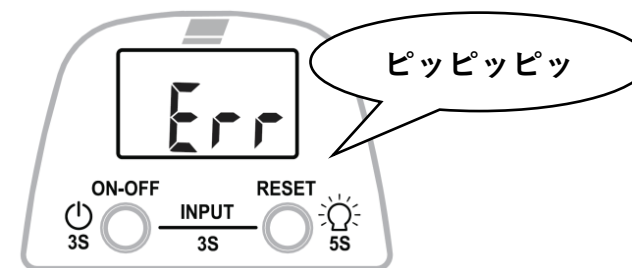
- ⑤ 巻き終わったらRESETボタンを押してください。ここでは巻いた糸の長さを入力します。

ON-OFFボタンを押すと点滅している桁の数字が0,1,2,3...9と変わります。

RESETボタンを押すと桁が変わります。

- ⑥ 糸の長さを入力したらRESETボタンを3秒以上押してください。

- ⑦ go表示が出たら入力されました。RESETボタンを押してください。0.0の表示が出たら、入力完了です。



トラブルシューティング

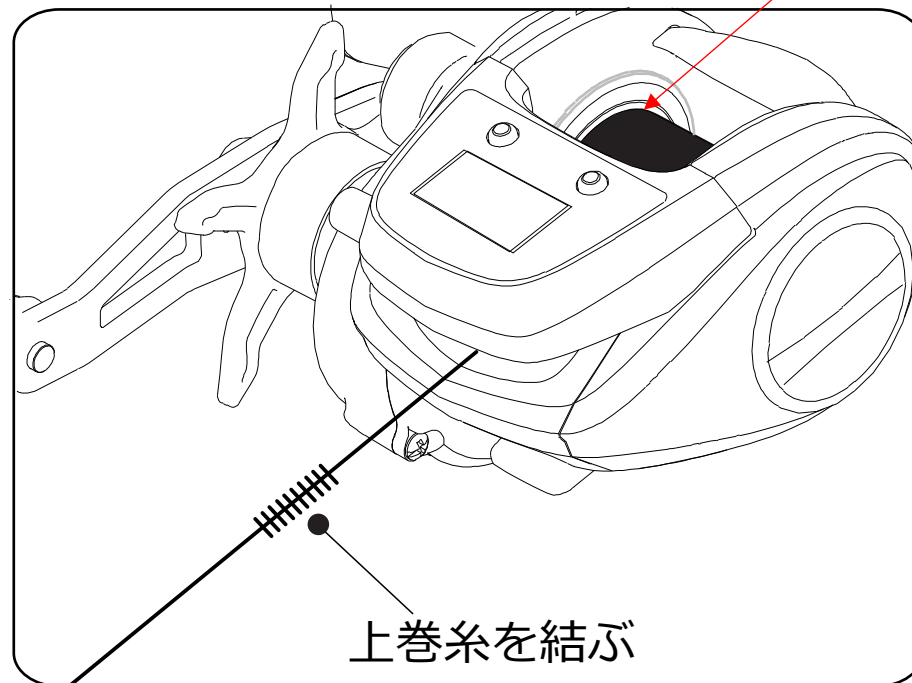
⑥の手順後にErrの表記がどうしても出てしまう場合は、ON-OFFボタンを押してください。F1が表示されます。糸を全て引き出して③の手順からやり直るか、またはON-OFFボタンを数回押しF4を選択の上、18ページ記載の40m引き出し入力を行ってください。

- 7 Err表示が出たら入力長さが間違っています。RESETボタンを押して再度⑤の手順を行ってください。

F2 下巻き1/3入力

下巻きをスプールの1/3容量まで巻きつけ、かつこれからリールに巻く糸の長さが分かり、*スプールエッジまで巻く場合の入力方法。

カウンターのON-OFFボタンを押す前に、**先ず下巻き糸を巻き付け、下巻き糸と上巻き糸を結んでください。**



1/3の下巻用目安ラインまで下巻き糸をまきつけてください。

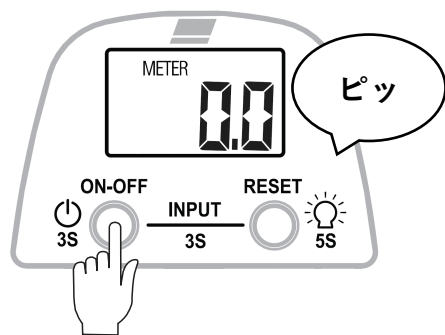
*下巻き糸はPEラインをご使用ください。

*下巻き糸の長さは、わからなくても、入力上の問題ありません。

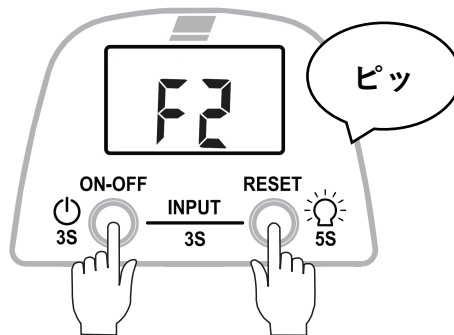
*下巻用目安ラインまで正確に巻いてください。

F2 下巻き1/3入力

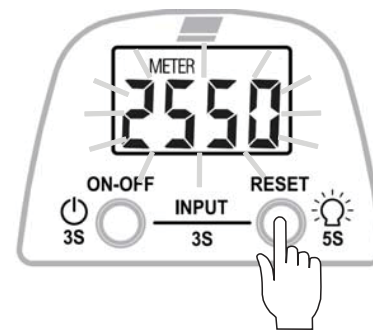
下巻きをスプールの1/3容量まで巻きつけ、かつこれからリールに巻く糸の長さが分かり、*スプールエッジまで巻く場合の入力方法。



- ① スプールに下巻き糸と上巻糸を結んだ状態から ON-OFFボタンを3秒押し、カウンターを表示をONにしてください。

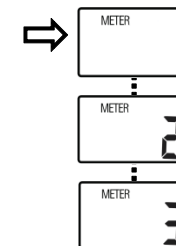


- ② ON-OFFボタンとRESETボタンを同時に3秒押し、下図の手順でF2を選択してください。

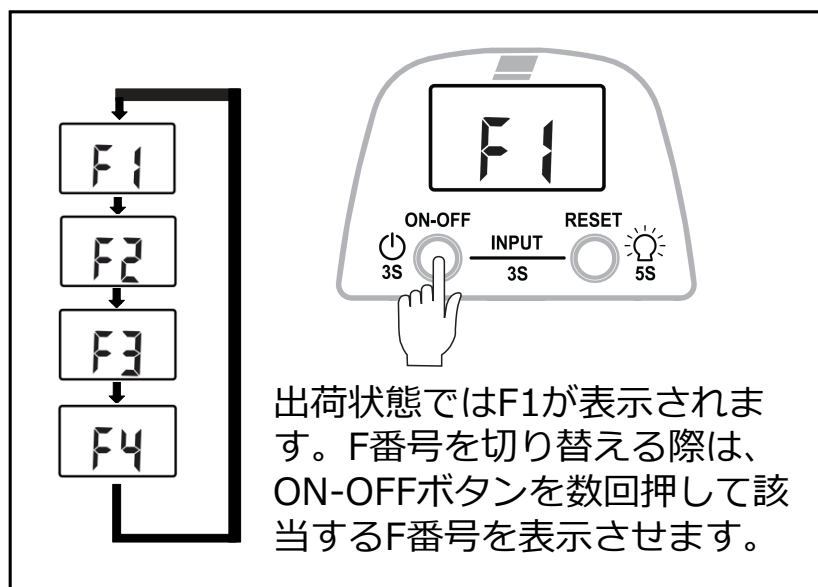


- ③ RESETボタンを1回押し、前回セットした際のスプールの回転数が点滅して表示されます。(出荷時2550)

スプールの回転数

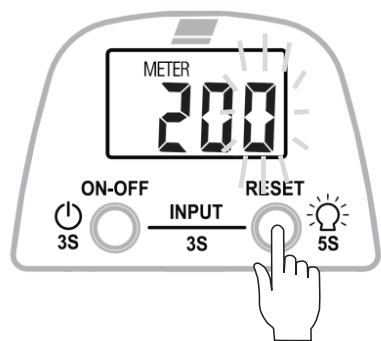


- ④ ハンドルで糸を巻いてください。糸に500g程度の負荷をかけてスプールエッジまで巻いてください。巻き始めるとスプールの回転数が表示されます。PEラインの糸色を数え、巻いた長さを忘れないようにしてください。



F2 下巻き1/3入力

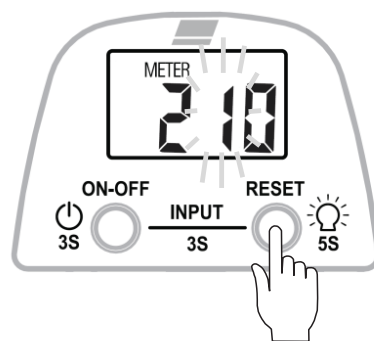
下巻きをスプールの1/3容量まで巻きつけ、かつこれからリールに巻く糸の長さが分かり、*スプールエッジまで巻く場合の入力方法。



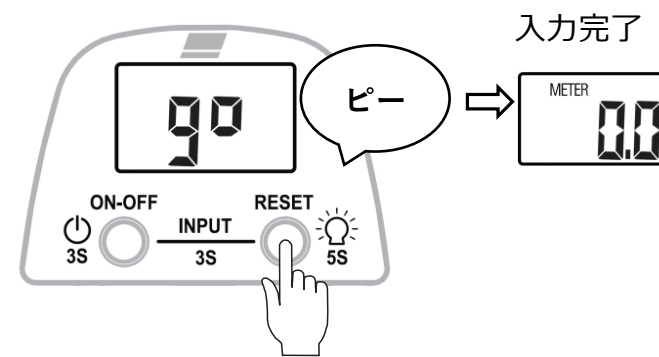
- ⑤ 巻き終わったらRESETボタンを押してください。ここでは巻いた糸の長さを入力します。

ON-OFFボタンを押すと点滅している桁の数字が0,1,2,3...9と変わります。

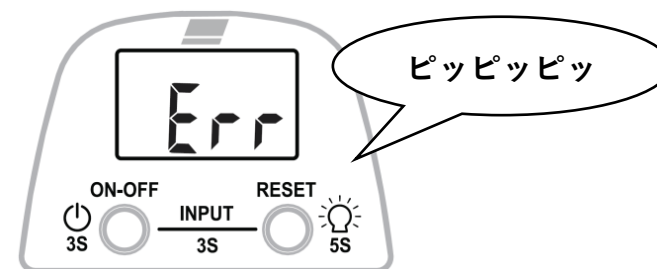
RESETボタンを押すと桁が変わります。



- ⑥ 糸の長さを入力したらRESETボタンを3秒以上押してください。



- ⑦ go表示が出たら入力されました。RESETボタンを押してください。0.0の表示が出たら、入力完了です。



- 7 Err表示が出たら入力長さが間違っています。RESETボタンを押して再度⑤の手順を行ってください。

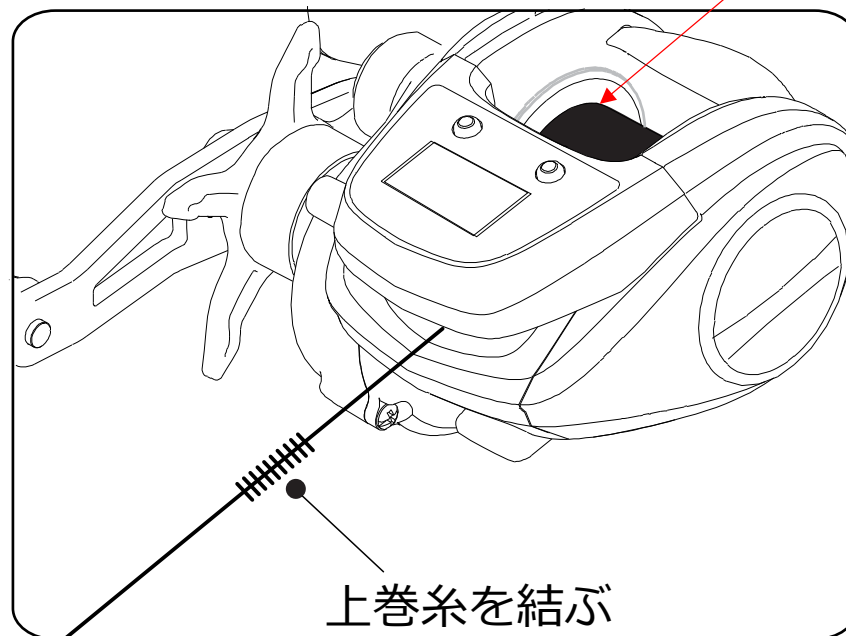
トラブルシューティング

⑥の手順後にErrの表記がどうしても出てしまう場合は、ON-OFFボタンを押してください。F2が表示されます。糸を全て引き出して③の手順からやり直るか、またはON-OFFボタンを数回押しF4を選択の上、18ページ記載の40m引き出し入力を行ってください。

F3 下巻き1/2入力

下巻きをスプールの1/2容量まで巻きつけ、かつこれからリールに巻く糸の長さが分かり、*スプールエッジまで巻く場合の入力方法。

カウンターのON-OFFボタンを押す前に、先ず下巻き糸を巻き付け、
下巻き糸と上巻き糸を結んでください。



1/2の下巻用目安ライン
まで下巻き糸をまきつけ
てください。

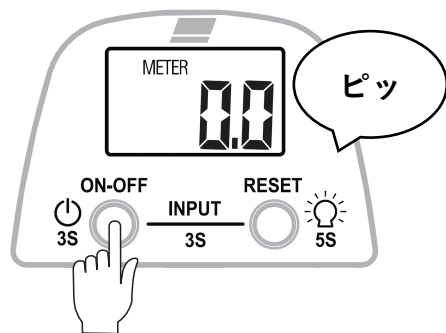
*下巻き糸はPEラインを
ご使用ください。

*下巻き糸の長さは、わ
からなくても、入力上の
問題ありません。

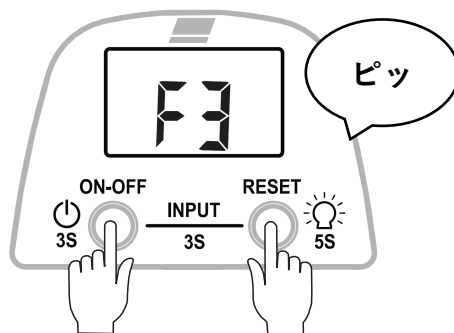
*下巻用目安ラインまで
正確に巻いてください。

F3 下巻き1/2入力

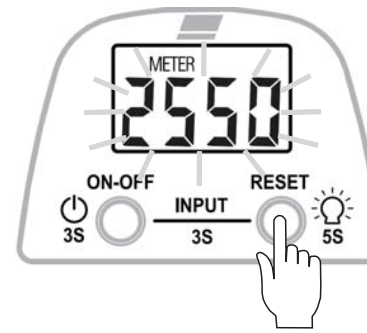
下巻きをスプールの1/2容量まで巻きつけ、かつこれからリールに巻く糸の長さが分かり、*スプールエッジまで巻く場合の入力方法。



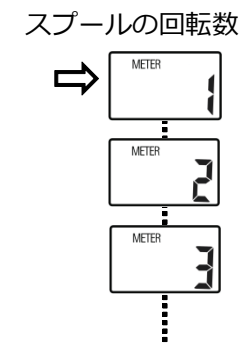
① スプールに下巻き糸と上巻糸を結んだ状態から ON-OFFボタンを3秒押し、カウンターを表示をONにしてください。



② ON-OFFボタンとRESETボタンを同時に3秒押し、下図の手順でF3を選択してください。



③ RESETボタンを1回押し、前回セットした際のスプールの回転数が点滅して表示されず。(出荷時2550)



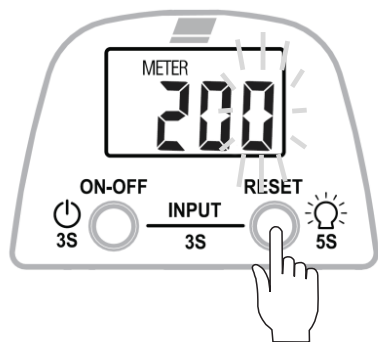
④ ハンドルで糸を巻いてください。糸に500g程度の負荷をかけてスプールエッジまで巻いてください。巻き始めるとスプールの回転数が表示されます。PEラインの糸色を数え、巻いた長さを忘れないようにしてください。

出荷状態ではF1が表示されます。F番号を切り替える際は、ON-OFFボタンを数回押し、該当するF番号を表示させます。

The diagram shows a vertical sequence of boxes labeled F1, F2, F3, and F4, connected by downward arrows. A thick black line forms a loop around the F1 box, indicating it is the default state. To the right, a hand is shown pressing the ON-OFF button (3S) on the device, which displays 'F1'.

F3 下巻き1/2入力

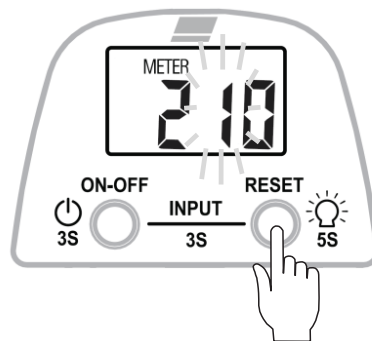
下巻きをスプールの1/2容量まで巻きつけ、かつこれからリールに巻く糸の長さが分かり、*スプールエッジまで巻く場合の入力方法。



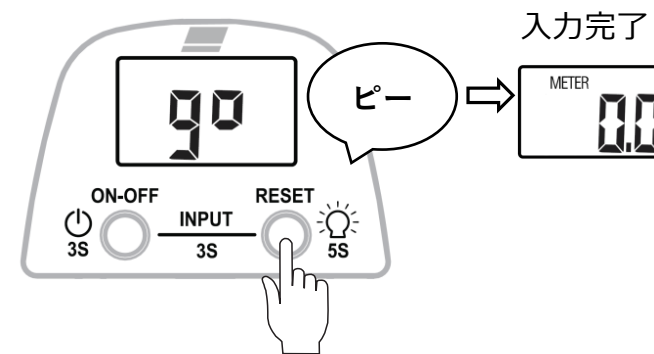
⑤ 巻き終わったらRESETボタンを押してください。ここでは巻いた糸の長さを入力します。

ON-OFFボタンを押すと点滅している桁の数字が0,1,2,3...9と変わります。

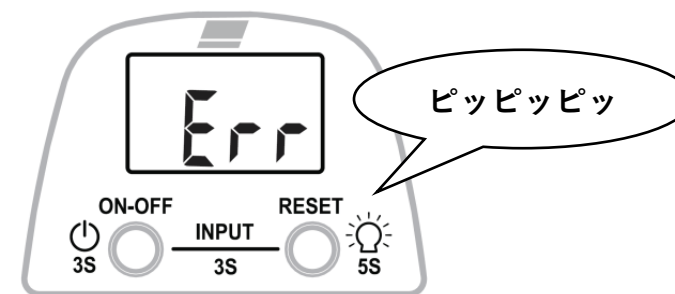
RESETボタンを押すと桁が変わります。



⑥ 糸の長さを入力したらRESETボタンを3秒以上押してください。



⑦ go表示が出たら入力されました。RESETボタンを押してください。0.0の表示が出たら、入力完了です。



7 Err表示が出たら入力長さが間違っています。RESETボタンを押して再度⑤の手順を行ってください。

トラブルシューティング

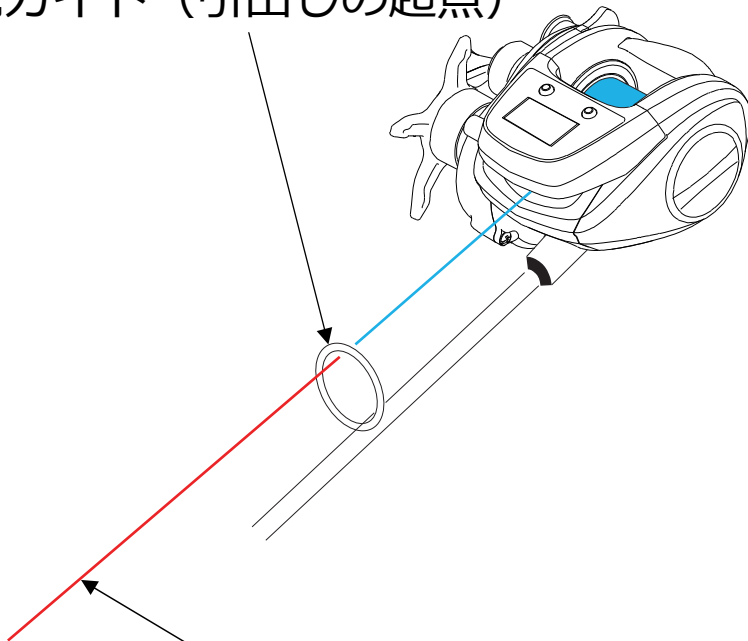
⑥の手順後にErrの表記がどうしても出てしまう場合は、ON-OFFボタンを押してください。F3が表示されます。糸を全て引き出して③の手順からやり直るか、またはON-OFFボタンを数回押しF4を選択の上、18ページ記載の40m引き出し入力を行ってください。

F4 40m引出し入力

糸の太さやこれから巻く糸の長さが分からない場合や、スプールエッジまで巻けない場合の入力方法。但し糸が40m引き出せる条件で、かつ20mを2回正確に引き出せる必要があります。

PEラインをリールに巻き終えた状態から再入力できる方法です。ただし、リールには、糸が50m以上巻いてあり、糸を40m（20m×2回）正確に引き出せることが必要です。糸はスプールエッジまで巻かれていなくても入力できます。

元ガイド（引出しの起点）



10m未満の端数の糸
（ガイドの先に出しておく）

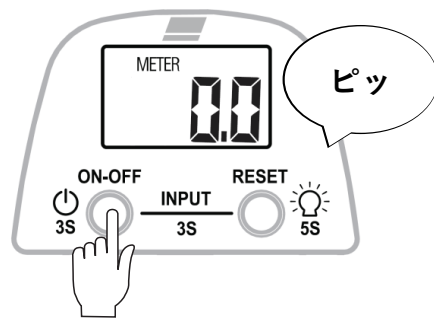
入力前の準備として、リールを竿に取り付けることをお勧めします。

【巻き終わりがちょうど10mある場合】
巻き終わりの糸の先端を引出し竿の元ガイド部分に合わせてください。この位置を引き出しの起点とします。

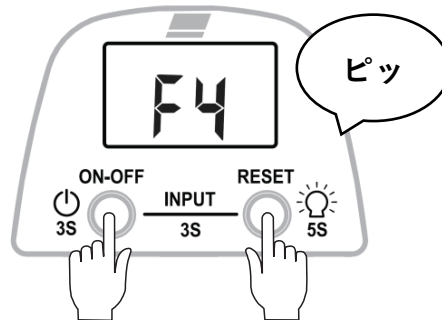
【巻き終わりが10m未満の場合】
巻終わりの糸の先端を引出し元ガイドに通してください。2色目の始まり位置を竿の元ガイド部分に合わせて、この位置を引き出しの起点とします。

F4 40m引出し入力

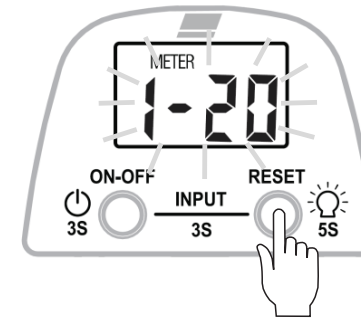
糸の太さやこれから巻く糸の長さが分からない場合や、スプールエッジまで巻けない場合の入力方法。但し糸が40m引き出せる条件で、かつ20mを2回正確に引き出せる必要があります。



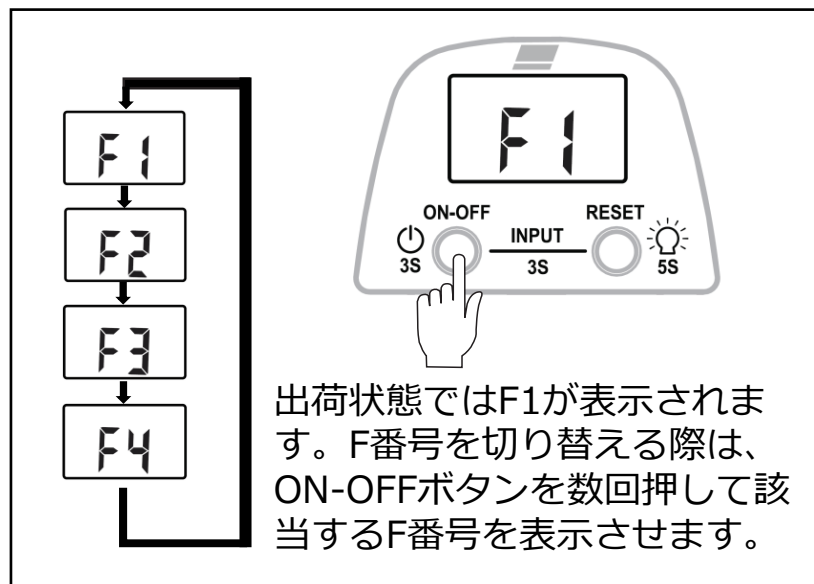
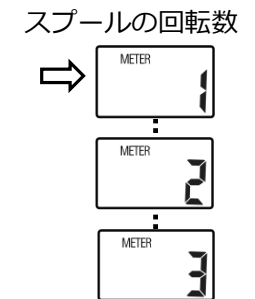
- ① 糸を引き出す準備をした後に、ON-OFFボタンを3秒押ししてカウンターの表示をONにしてください。



- ② ON-OFFボタンとRESETボタンを同時に3秒押ししてください。下図の手順でF4を選択してください。



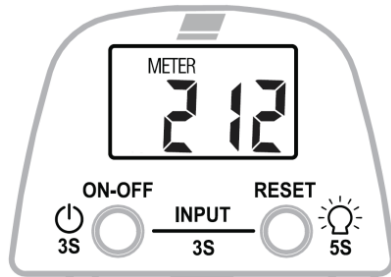
- ③ RESETボタンを1回押ししてください。1-20が点滅して表示されます。



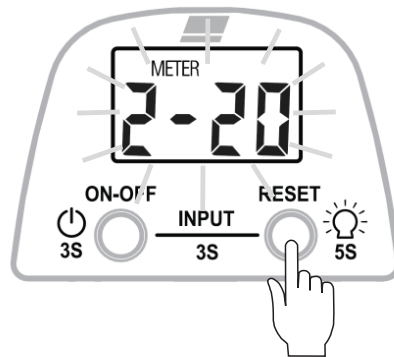
- ④ 糸を18ページに示す基準位置から正確に20m（糸色 2色分）引き出してください。引き出し始めるとスプールの回転数が表示されます。糸を引き出し過ぎた場合は、巻いてもどしてください。

F4 40m引出し入力

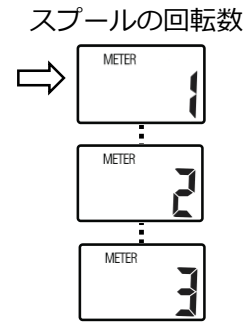
糸の太さやこれから巻く糸の長さが分からない場合や、スプールエッジまで巻けない場合の入力方法。但し糸が40m引き出せる条件で、かつ20mを2回正確に引き出せる必要があります。



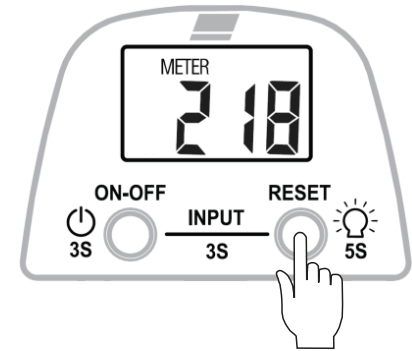
⑤ 20mの糸の引き出しを終えると、カウンターに、スプール回転数が表示されます。



⑥ RESETボタンを1回押してください。2-20が点滅して表示されます。



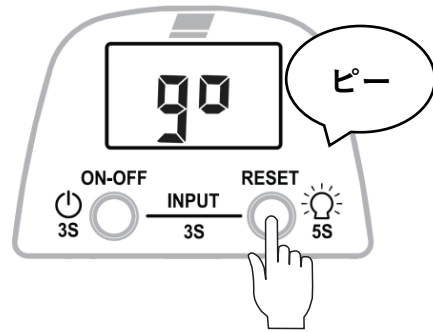
⑦ 糸を18ページに示す基準位置から正確に20m（糸色 2色分）引き出してください。引き出し始めるとスプールの回転数が表示されます。糸を引き出し過ぎた場合は、巻いてもどして



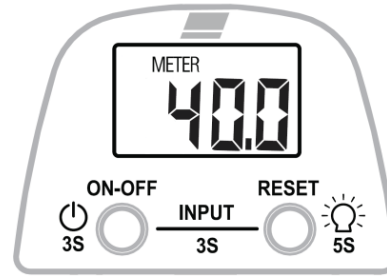
⑧ 20mの糸の引き出しを終えると、カウンターに、スプール回転数が表示されます。RESETボタンを1回押してください。

F4 40m引出し入力

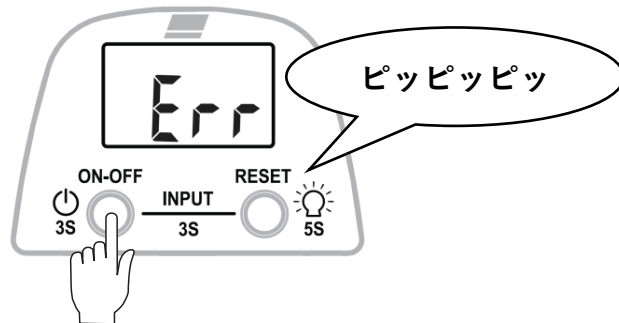
糸の太さやこれから巻く糸の長さが分からない場合や、スプールエッジまで巻けない場合の入力方法。但し糸が40m引き出せる条件で、かつ20mを2回正確に引き出せる必要があります。



- ⑨ go表示が出たら入力されました。RESETボタンを押してください。40.0の表示が出ます。



- ⑩ ハンドルを回して40mの引き出した糸を巻き取ってください。入力完了です。



- 9 Err表示が出たら引き出し長さが間違っています。ON-OFFボタンを押して、40mの糸を巻取り、再度②の手順から入力を行ってください。

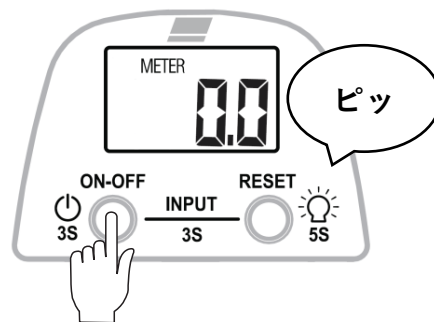
トラブルシューティング

18ページに示す基準位置から正確に20m（糸色 2色分）×2回引き出してください。
巻終わりの糸が、10m未満の端数がある場合は、その部分を竿先側に引き出し、引き出しのカウントに使わないでください。

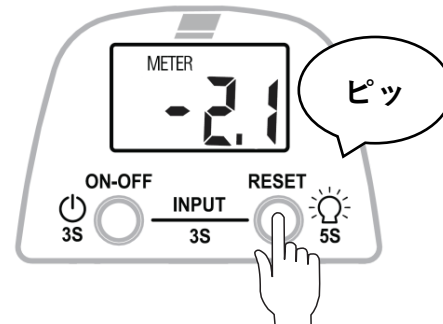
釣りをする時の操作方法

0mセットの設定、高切れ補正機能

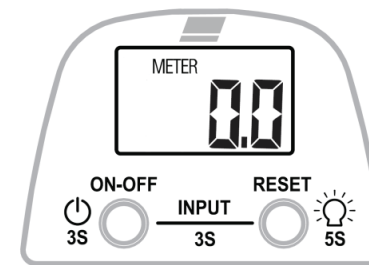
まず初めに釣りをするときの設定をします。水面から仕掛けまでの水深を正確に把握し釣果を上げるためです。



仕掛けの準備ができたならON-OFFボタンを3秒押ししてカウンターを表示させてください。



図のように仕掛けを水面に合わせ、ピッと鳴るまでRESETボタンを押します。



0mセットの完了です。

【高切れ補正機能】

水深表示10m以上で、上記『0mセット』をすると『高切れ補正機能』を自動的に実施し、水深表示誤差を補正します。切れた糸の末端部を、竿先近くまで巻いて0mセットしてください。

ご注意

1. 高切れ補正機能には、補正限度があります。糸の残量が50mを下回ってしまった場合や2に示す誤操作の場合、補正できません。釣りを続行するには、再度F4の入力をしてください。
2. 糸を巻き込み過ぎた状態や、糸を必要以上に多く出した状態での0mセットは、水深表示が不正確になる原因となりますのでおやめください。

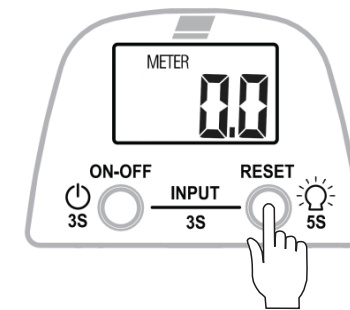
船べりアラーム機能

仕掛けが船べりに近づくと、アラームで知らせてくれる機能です。魚の取り込みタイミングを知らせてくれたり、仕掛けの巻き込みによる竿の破損を防止できる便利なアラーム機能です。

出荷時、この機能はONとなっています。



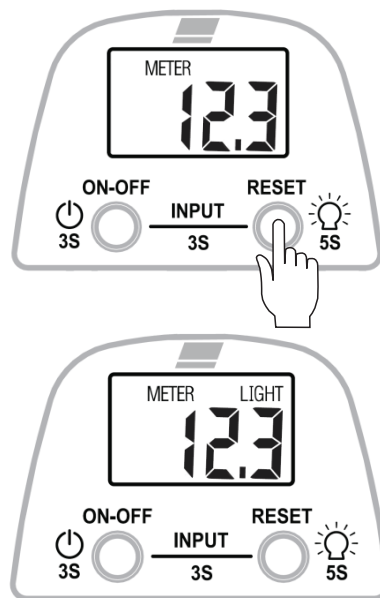
船べりアラーム機能をOFFにするには？



RESETボタンを10秒押します。ピッピッと音が鳴ったらセット完了です。ONにする場合も同様です。

LEDバックライト設定

本製品には夜間での釣りができるように、デジタルカウンター表示部にLEDバックライトの機能があります。バックライト節電機能付きです。



電源ONの状態ではRESETボタンを5秒押し続け、LEDライトが点灯したら、すぐに指を離してください。

LEDバックライトが点灯し、画面右上にLIGHTの表示が出ます。

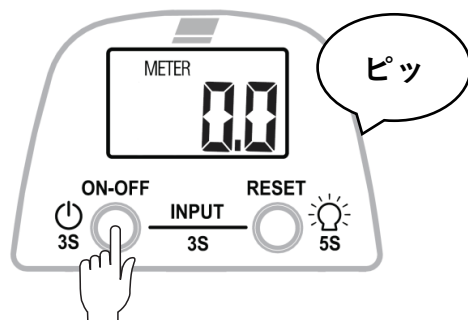
LEDバックライト設定をOFFにするときも同様の操作です。
RESETボタンを5秒押し続けると画面右上のLIGHT表示が消えます。

バックライト節電機能：バックライトはバックライト点灯の後、30秒間スプールの回転がない時に、節電のため自動的にスリープ（消灯）します。再びスプールの回転（糸の巻取りまたは繰出し）によりスリープを解除します。

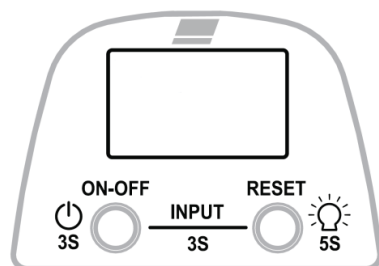
釣りを終わったら 電源OFF

釣りを終わったら、電池の節電のため、必ずON-OFFボタンを押してカウンターの電源をOFFにして下さい。

入力された、糸のデータは次回釣行時まで保持されます。電池交換を行ってもデータは保持されます。



ON-OFFボタンを3秒押します。



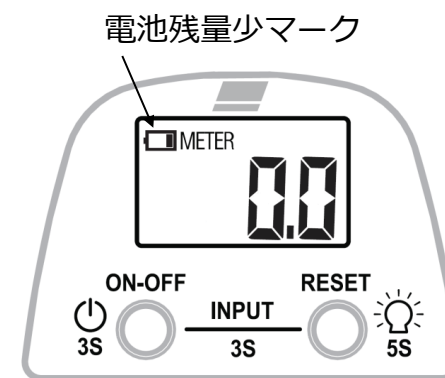
釣り終了。

電池の交換方法 電池型番：CR2032

電池の交換時期

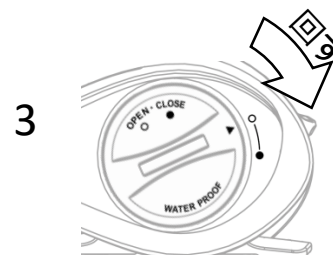
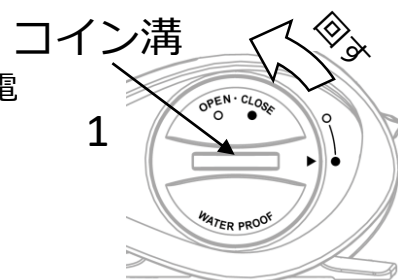
カウンターに『電池残量少マーク』が表示されましたら電池の交換時期です。お早めに電池交換をお願いします。

- 電池は釣具店様や電器店様で購入できます。電池型番：CR2032
- 電池寿命はバックライトOFFでの使用で150回釣行（約3年）程度で、バックライトONでの使用で8回釣行程度です。



ご使用前の電池取り扱い

1. コイン等を図のフタの溝に合わせ反時計回りに回し、フタと電池を外します。
2. フタと電池を取り外し、交換する電池をフタの裏側に、電池の(-)極が見えるようにセットします。
3. 本体に対し、フタの▲マークが○の位置になるように電池と蓋を本体にセットし、コイン等を使用しフタを押しながら時計回りに回します。▲マークと●マークが合う位置まで回します。



電池交換時の注意

- 海上や湿度の高い場所での電池交換は避けてください。
- バッテリーのフタを長時間あけたままにしないでください。
- 電池の+をまちがえないようにしてください。

お取り扱い上の注意

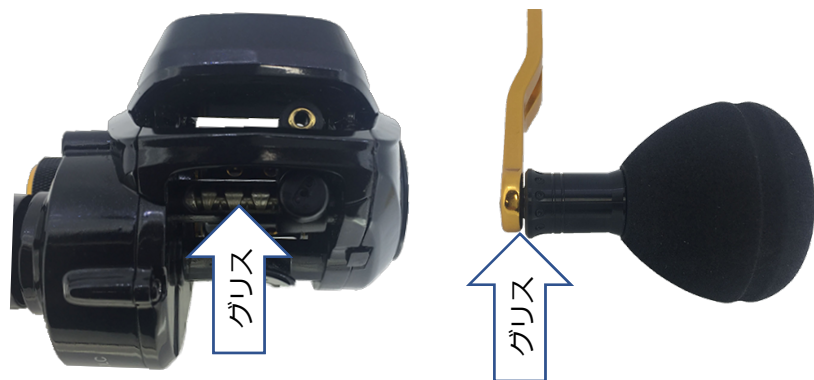
メンテナンス

1. リールは精密機械なので定期的なメンテナンスが必要です。つねに最良の状態を使用するためには、使用后必ず清掃と注油をしなければなりません。淡水で使用された場合は汚れを布で拭き取り、注油する程度で十分です。
2. 海水での使用後に塩分等洗う場合は水道の水を流しながらリールの表面に付着した砂、汚れなどをサッと洗い落とします。その際、ドラグ、ギアなどが収められているリール本体に絶対に水が入らないように注意してください。
3. リール本体、特にカウンター部は、水没させないでください。（カウンター部は防水仕様ですがトラブルを防止するため、絶対水没させないでください。）
4. 洗った後は十分に乾燥させ、下図の位置にオイルやグリスをさします。以上はあくまで、日常行なっていただく最低限のメンテナンスです。シーズンに一度は分解して洗浄・注油をするオーバーホールが必要です。
5. オーバーホール・修理はピュア・フィッシング・ジャパン・リペアセンターにて承っております。内部は非常に複雑な構造な為、弊社でのオーバーホールをお勧めいたします。

注油箇所

レベルwindシャフト部

ハンドルノブ



保管について

- 濡れたままや、湿度の高い状態や温度の高い状態で長時間保管しないでください。（車内や道具箱等）
- 水分をよくふきとり陰干した後、しっかりと乾燥させてください。
- 必ず竿から外した状態で保管してください。





お取り扱い上の注意

ご使用上の注意

- 根掛かりした時は竿やリールで無理にあおらないで、手に手袋やタオルきつけて巻きつけ切るようにして下さい。
- リールの回転部にはグリスや油がついていますので、衣類を汚さないように注意して下さい。
- リールを釣り以外の目的で使用しないで下さい。
- PEライン1号以下の細糸使用時において、糸巻きの偏りやバックラッシュの発生によりスプールとフレームのすき間に糸が入り込む場合がありますのでご注意ください。
- サムバークラッチを押したままハンドルを回転させないで下さい。故障の原因となります。
- 内部部品にはエッジ等がありますので手を切らないよう注意して下さい。
- リールは、精密機器であるため落としたり、衝撃を与えないよう、ていねいに扱ってください。
- リール収納時にカウンター操作ボタンが押されたままの状態になりますと電池消耗を生じますので、収納時には操作ボタンに接触しないようご注意ください。
- 偏光ガラスの種類によってカウンターの液晶画面が見にくくなる場合があります。
- 電源 OFFの状態や、電池がなくなった状態では、糸の入力はできません。
- 防水性を考え、バッテリーのフタは出荷時にしっかりと閉めてあります。バッテリーのフタの開閉は電池交換以外避けいただき、交換後は、フタをしっかりと閉めてください。

お取り扱い上の注意

安全上の注意 ご使用前に必ずお読みください。

	 注意
	<ul style="list-style-type: none">糸をリードするレベルワインドの所に指を近づけて、釣りをしないでください。指をはさまれてけがをするおそれがあります。ハンドルとボディの間に手をはさむと、けがをするおそれがあります。
	<ul style="list-style-type: none">糸が勢いよく出ている時は、糸にふれないでください。糸で指を切るおそれがあります。心臓ペースメーカー等の電子医療機器を装着した人は磁石を取り扱わないでください。磁石を誤って飲み込むと、生命に関わる場合があります。小さいお子様の手 の届かない場所に保管ください。万が一飲み込んだ場合は至急医師の診断 を受けてください。磁石と磁石または他金属等の磁性体の間には非常に強い吸着力があります。急激に吸着し跳ねたりしますので眼鏡等を利用し保護して取り扱ってください。磁石を磁気テープ、磁気カード、その他記憶媒体、時計、電子機器に近づけ ないでください。故障やデータ破壊の危険があります。
	<ul style="list-style-type: none">回転しているスプールには触れないでください。 けがをするおそれがあります。

故障かな？と思う前に

症状	操作	原因	参照ページ
カウンターが表示しない	ON-OFFボタンを3秒以上押ししてください。	ボタンを押す時間が短い。	22ページ
	絶縁フィルムを外してください。	絶縁フィルムが電池部に残っている。	7ページ
	電池交換または電池の+ - 極を確認してください。	電池切れまたは電池の向きが間違っている。	26ページ
カウンターの表示が薄くなってきた	電池交換してください。	電池交換時期になっている。	26ページ
	-10℃以下、60℃以上の環境では、液晶の性能上カウンター表示が見えにくくなる場合があります。		
カウンター表示と実際の糸の長さとの誤差が徐々に出てきた	仕掛けを水面まで巻き上げて、ピッと鳴るまで、RESETボタンを押し、再度0mセットしてください。	特に、魚を釣った後、スプールに糸が強く巻かれたり、糸が伸びたりしますので、一時的にカウンターの表示誤差がでます。	22ページ
カウンター表示と実際の糸の長さとの誤差が大きい	お手数ですが、再度F4により糸の入力をやり直してください。	入力の手違いまたは高切れその他の理由でスプールにまかれた糸が大きく減っている。	18～21ページ
	糸の種類によっては、糸の伸び・縮みが多かったり、各10mの色分けにズレが出る場合もあります。結果として、カウンター表示とのズレが出る場合もあります。		

故障かな？と思う前に

症状	操作	原因	参照ページ
船べりアラームが鳴らない	RESETボタンを10秒押してください。	船べりアラームOFF状態になっている。	23ページ
船べりアラームの音が小さくなった	電池交換してください。	電池交換時期になっている。	26ページ
LEDバックライトが点灯しない	RESETボタンを5秒押してください。	LEDバックライトOFF状態になっている	24ページ
LEDバックライトが暗くなった	電池交換してください。	電池交換時期になっている。	26ページ
Errが表示された後、水深を表示する画面へ戻れない。	①Err表示中に、ON-OFFボタンを押してください。 ②F1～F4の表示が出ます。 ③ON-OFFボタンとRESETボタンを同時に3秒押してください。 ④水深表示に戻ります。	誤操作が原因です。	10～21ページ

* 製品の各仕様・デザイン・価格については、改良のため予告なく変更する場合があります。

ピュア・フィッシング・ジャパン株式会社

〒135-0042 東京都江東区木場 2-15-12 MAビル

TEL 03-6860-5180

